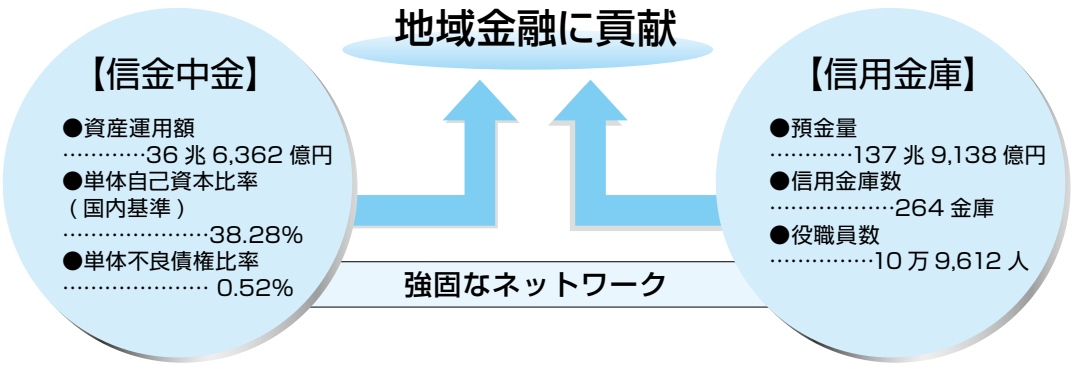
信金中央金庫 ～信用金庫のセントラルバンク～

SCB Shinkin Central Bank

信金中央金庫（略称：信金中金）は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関で、信用金庫の中央金融機関として、昭和25年に設立されました。

信金中金は、「個別金融機関」と「信用金庫の中央金融機関」という2つの役割を併せ持つ金融機関であり、資金調達額は、信用金庫から預け入れられた預金と金融債を発行して調達した資金等を合わせて35兆1，489億円(平成29年3月末残高)、総資産は37兆2，578億円(同)にのぼっています。

このように、信金中金は、わが国有数の規模を有する金融機関であり、平成12年には優先出資を東京証券取引所に上場しています。



上記計数は、平成29年3月末現在

個別金融機関としての役割

①総合的な金融サービスを提供する金融機関
預金業務、債券（金融債）業務、融資業務、市場運用業務、トレーディング業務、決済業務など

②わが国有数の機関投資家
総額約36兆円の運用資産を有し、金融証券市場を中心に運用

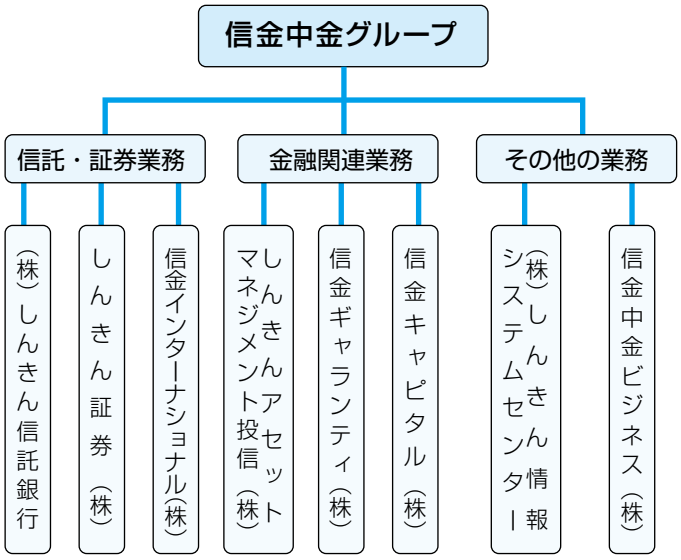
③地域社会に貢献する金融機関
地方公共団体、地元企業、PFI等への直接貸出など

信用金庫の中央金融機関としての役割

①信用金庫の業務機能の補完
- 信用金庫業界のネットワークを活用したビジネスマッチング、旅行モデルコース策定等の支援
- 信用金庫との共同による中小企業のライフステージに応じた各種支援、地域活性化コンサルティング
- 個人向け信託商品の提供
- 信用金庫顧客の海外進出支援

②信用金庫業界の信用力の維持・向上
- 信用金庫経営力強化制度の適時・適切な運営

総合力で地域金融をバックアップ



格付

格付機関	長期格付
ムーディーズ (Moody's)	A1
スタンダード＆プアーズ (S&P)	A
格付投資情報センター (R&I)	A+
日本格付研究所 (JCR)	AA

平成29年4月末現在